

平成24年3月

中川康江 学位論文審査要旨

主査 兼子 幸一
副主査 花木 啓一
同 吉岡 伸一

主論文

看護学校生のでんかんに関する知識・経験と態度との関係

(著者：中川康江、吉岡伸一)

平成24年 米子医学雑誌 63巻 42頁～55頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は看護師養成学校の看護学校生287名を対象に、てんかんに関する知識や経験がてんかんをもつ人に対する態度に及ぼす影響について検討したものである。その結果、これらの知識・経験や態度には、学年間で有意差がみられた。また、てんかんに関する知識や経験は、てんかんをもつ人に対する態度を好意的に変化させる可能性が示唆された。本論文の内容は、看護教育分野で、てんかんに対する誤解や偏見を減らすためには全般的な知識とともに接触体験を高める教育プログラムの必要性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。